

支笏湖野鳥の森「キムンモラップ山」と「丸山遠見（まるやまとおみ）」

2016（H28）年11月23日（水、祝）

参加者 L 藤木（た）、S L 藤木（晴）、澤田、相馬、永宮、渡邊、太田

（１）キムンモラップ山（478m）～標高差 200m
登り1時間、下り40分

（２）丸山遠見（327.2m）～標高差 97m
登り15分、下り10分

気温は低かったけど面白い山

支笏湖野鳥の森周辺の山に登ろうと、気温は氷点下のまま、国民休暇村の駐車場を出発した。



冬山装備の準備は言うまでもないが、まだ体が寒さに慣れておらず、体が温まるまで時間がかかった。

途中まで散策路を使い、尾根の取りつきから山頂まで背丈の低い笹を漕いで登った。

いったん頂上らしきところに出たが、20数メートル先のほうが高いと思い、移動。



キムンモラップ山を下山後、Wさんの登山靴が見事に分解してしまいました。運動靴に履き替えて、次の丸山遠見に向かった。



登山口から車道を歩かないで道の無いところを登り、尾根に取りついた。



尾根歩きをしていたら、丸々に太った「エゾタヌキ」に遭遇した。エゾタヌキは小心者で、



人前に出ることはなく、ときどき車道に出てきて交通事故に遭い、横たわっているのを見かけることがある。

山の中のこのときのエゾタヌキは後ろ姿を見せて逃げて行った。

下山のときにはエゾタヌキの「ため糞」を見ることができた。(※上のエゾタヌキの画像はどこかのホームページから借用)



丸山遠見は一番上まで登っていける。檣の上で、周辺の景色を眺めた。



帰宅して「キムンモラップ」の意味を調べたら「山の・小さな低いもの」を意味するらしいです。

おにスポ「山歩ぐる一歩」の今回の山行は参加者がおらず、個人山行でしたが、初冬の近くの低山もたまにはいいもの。

次回はスノーシューを使う登山にしたい。

リーダー、サブリーダー、ありがとうございました。

(記録 澤田)